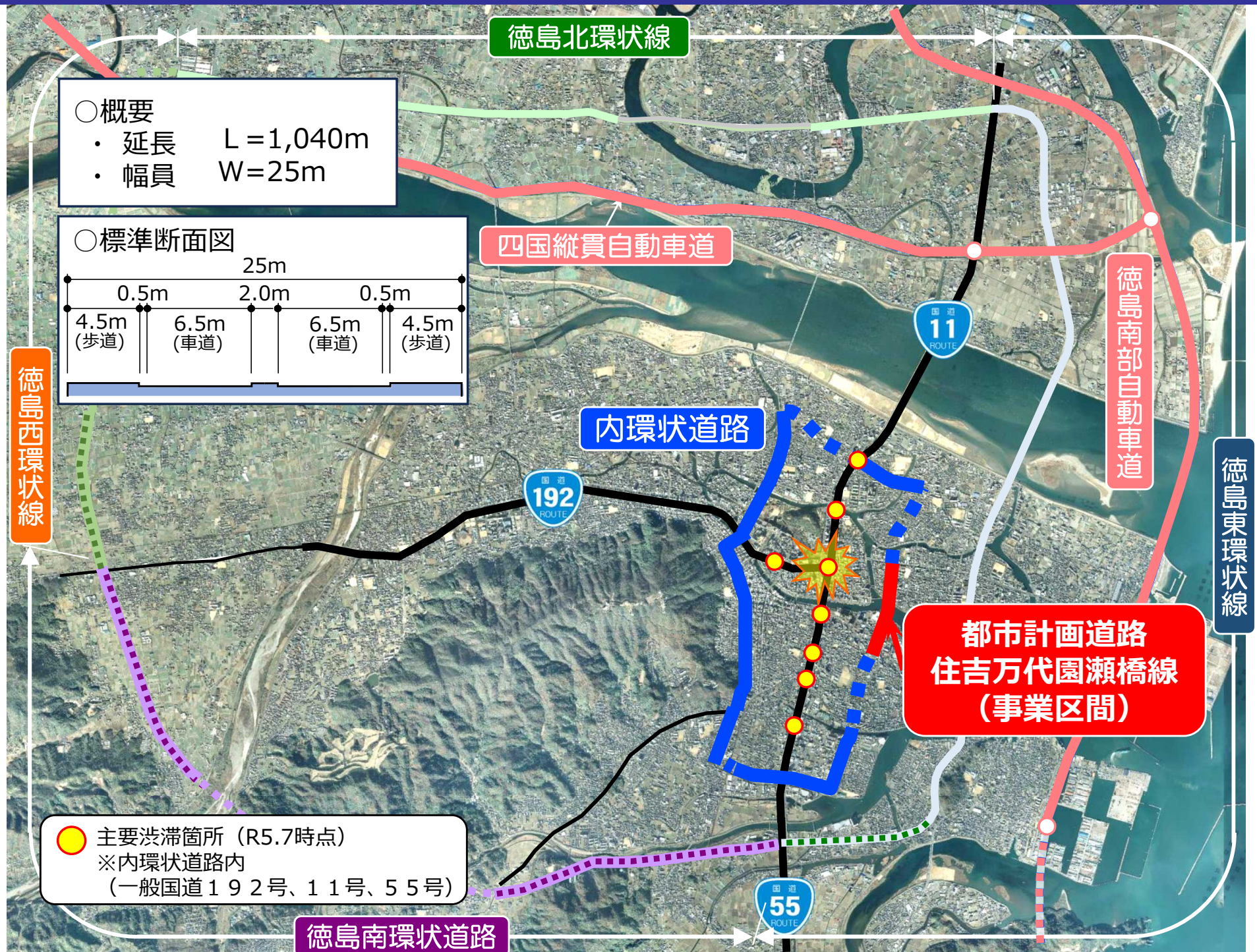


「万代中央ふ頭エリア」の取組について

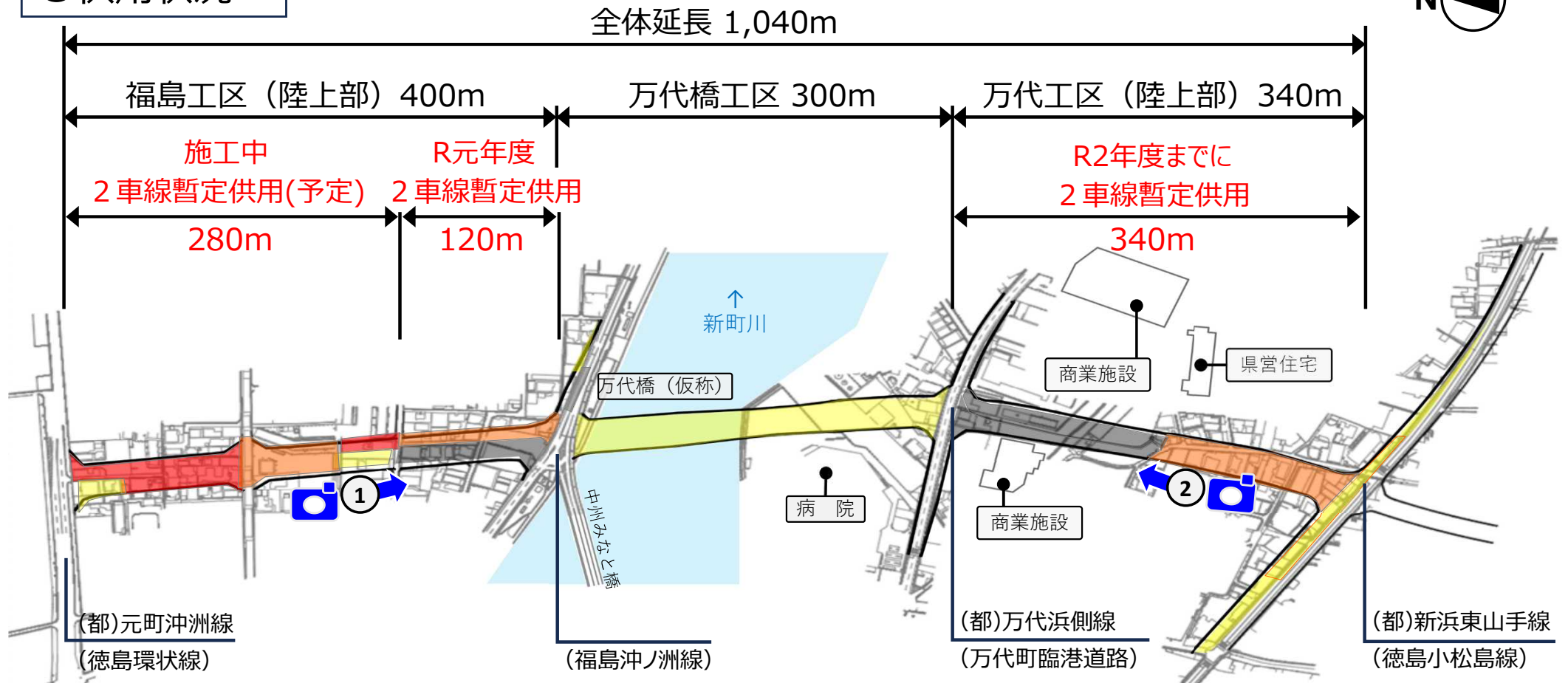
～万代橋（仮称）デザイン検討会議～

令和 7 年 8 月 5 日（火）

徳島県 県土整備部 都市計画課



○供用状況



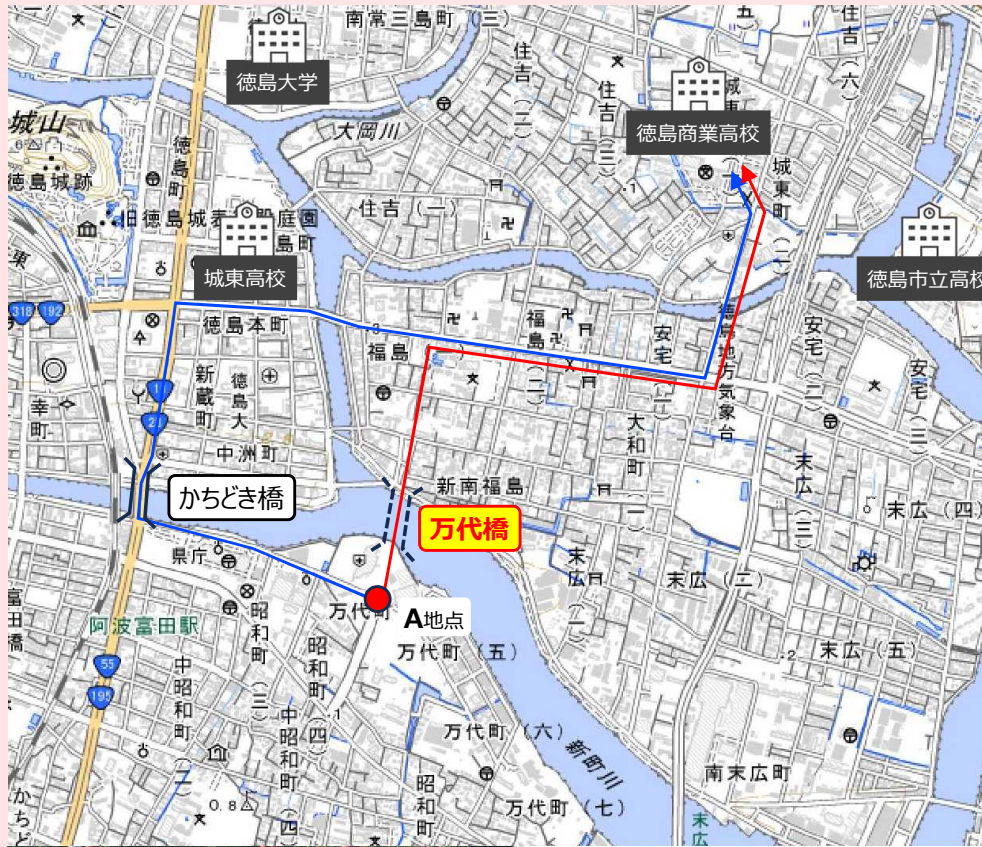
凡例 整備状況			
H30まで	R1-R6	R7	R8以降

《進捗率》
事業費：61%・用地：80%

● 歩行者・自転車の安全性、快適性向上

- ・通勤・通学ピーク時の「かちどき橋（一般国道11号）」において、歩行者と自転車が錯綜

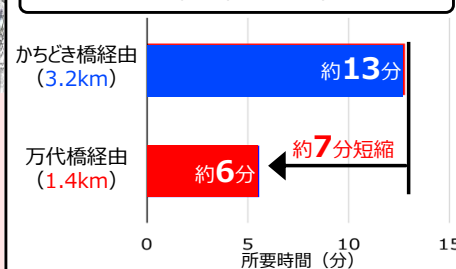
⇒**交通分散が図られ、安全性、快適性の向上が期待**



自転車と歩行者が錯綜するかちどき橋



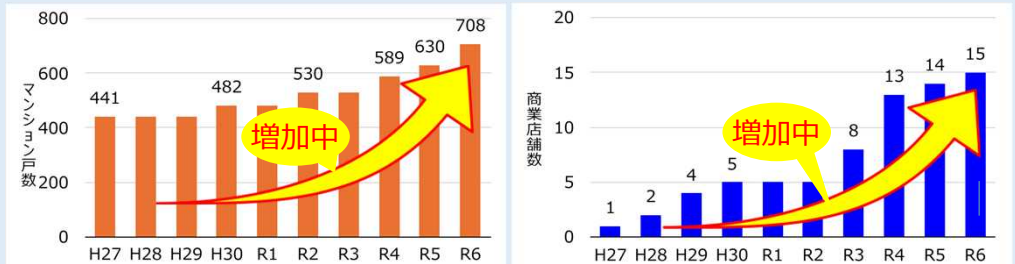
Aから徳島商業高校 自転車所要時間



● 交流の拡大・雇用増大

- ・ブランド力が向上している「万代中央ふ頭」へのアクセスの向上
- ・新町川で分断されていた2つの地区に新たな交流が誕生・促進し、「居心地がよく歩きたくなるウォーカブルな環境」を形成
- ・道路整備により、**周辺**のマンション、店舗等の**開発が促進**

⇒**更なる交流の拡大・雇用増大が期待**



マンション戸数の推移(万代・昭和・福島町)

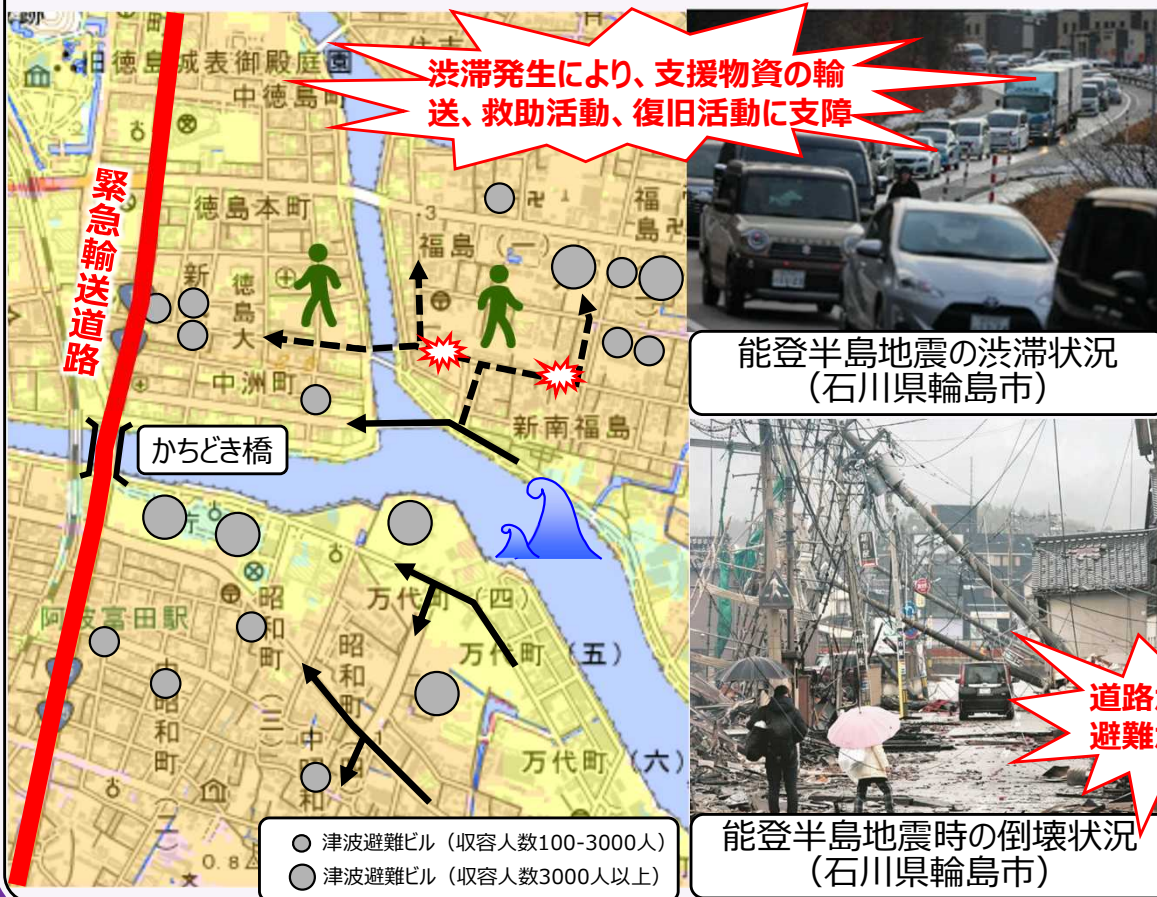
商業店舗数の推移(万代・福島町)



●災害時の代替路確保

現状

- 令和6年発生 of 能登半島・日向地震など、大規模地震の切迫性が高まる中、
- ・ 福島地区は宅地の密集、狭小な避難路のため、災害時、家屋・電柱の倒壊により道路が閉塞し、避難困難のリスクあり
 - ・ 地震、津波発生時、「かちどき橋」に交通が集中し、渋滞発生により、支援物資の輸送、救助活動、復旧活動に支障を来すリスクあり
 - ・ 津波及び船等の漂流物による複合災害により、緊急輸送道路の被災リスクあり



整備後

- ・ 信頼性の高い避難ルートが増え、迅速かつ柔軟な避難行動が可能
- ・ 「かちどき橋」と「万代橋」のダブルネットワークにより、リダンダンシーの確保



●検討会の目的

地域の個性を活かし親しみのある都市景観とするために、
万代橋（仮称）の色彩の選定等について、検討会を開催し、
学識経験者等の提言・助言を伺う

●検討項目

デザイン・色彩（主桁、歩道、高欄、照明）